
殺りにいきませんか

千八羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺りにいきませんか

【Nコード】

N6188F

【作者名】

千八羽

【あらすじ】

一つの夢とゲーム機っぽいやつがかなえてくれたたのしい人生楽しいことばっかじゃないのよ

殺りにいきませんか

プーーン

あ、ちやいむだ。さあさあ楽しいもんくのはじまりだあ
ぴぴぴっ（目覚まし時計）

「おいおい、もうあさかよあーあ学校はめんどいな」

俺は本当は心で言うつもりがいつてしまった。まあだれもきいてな
かろう

「こらーちやちゃーはよおきなさいって」

母がもうおきろおきろうるさい

なんでこんな朝ははやいんだ！！せめて24時間くらいよるがあれ
ばいいのにさっ

そういえば今日変な夢を見たまあこんなかんじだ。

ん？ここはどこだ。しかもごみばこにはいつてるぜ。やつほーーう

（涙）

くさいくさい

なんだ？ここは しかもくらいし電柱一本のひかりしかない。

そうおもいつつごみばこをでた。

そこらへんをさんぽみたいにあるきまわったが人一人しかない

おつかしいなまよなかなきゃなさそうな感じだし人一人はいるはずな
のに

そしてさいごには自分ちみたいな家についた

いちおうインターホンでピンポーンとならしてみた

だれもでない。

でも俺っちの家似てるし入っちゃおう

と思ってドアを押してみたら意外にドアが開いた。

光は一つもないもう寝てんのかなあ

おそるおそる二階に行き自分の部屋のドアについた

コンコン

「だれかいませんかー」

じぶんちにてるからすごく変な感じがする

「いませんねー入っちゃいますよー」

はいちゃった。

そこにはじぶんのへやにすごく似てたというかそのまんまだ

そこにはパンダと犬と猫がいた

っていうのは嘘ですすみません

で、つくえをみたら

ケータイみたいなげーむきがあった

質問コーナー

なんでつくえをみたんですかあとげーむきとわかったんですか？

・・・なんとなくです^^

やっちまおうぜ

いやあなんという面白い

数分やっていたらぴかっと光った

そしてぬにゃむにゃ

ぴぴぴっ ↑はじめらへんの目覚ましですよ

って感じな感じですよお

母がうるさいから下に降りるとしよう

8時にでなくちゃいけねーのに8時だあ

遅くなったが俺は

チャ・リン・チャ

みんなからはちゃちゃと呼ばれているこんなあだ名で呼ばれるんならリンがよかったぜいちくしょー

「あさごはんはー？」

母は朝ごはんはきつと電子レンジだ

「いや、いらん」

「たべていきなさい」

おくれてるってのに冗談じゃない

俺は逃げるように

「行ってきまーす」

といって学校えいそいだ

ついでに高校だ

なんでがっこうはやまのなかにあんだよ。すっごい坂だぜ
まあそれなりにいい運動といい景色だしな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6188f/>

殺りにいきませんか

2010年12月18日22時28分発行